

祇園小学校 校長だより（第70号） 令和2年度第11号 令和2年9月1日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

## 新型コロナウイルス感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さない

先日、新型コロナウイルス感染症に対する文部科学大臣のメッセージをお配りしました。保護者や地域の皆様向けのメッセージの第一に上記の言葉がありました。誰もが新型コロナウイルスに感染する可能性があります。自分や家族、職場の同僚等が感染した場合、差別や偏見、誹謗中傷が自分たちに向けられると想像すると、他人に対してもできないはずで、夏休み前に、放送を通して私が児童へ話した内容の一部を次に記載します。

三つめは、美しい心をもってほしいということです。

あなたがうそをつく、ほかの人からもうそをつかれるかもしれません。正直で素直な心の持ち主がたくさんの人に愛されます。あなたがいじわるをすれば、ほかの人からもいじわるをされるかもしれません。あなたが優しくすれば、ほかの人からも優しくされることが増えると思います。あなたがきまりを守れば、ほかの人もきまりを守ってみんなが幸せになると思います。あなたが植物を大切に育てると、あなたがいない二酸化炭素を植物が吸ってくれます。また、あなたに必要な酸素を植物が出してくれます。お風呂の中でお湯を押せば、壁に当たったお湯があなたに返ってきます。それと同じように、あなたがしたことがあなたに返ってくると考えてください。あなたが美しい心をもつと美しい心を持った人があなたにも返してくれます。

文部科学大臣からのメッセージと報道でも取り上げられ、特に学校や教育の世界で差別や偏見、誹謗中傷がひどいように受け取られがちですが、はたしてそうでしょうか？子どもは大人を映す鏡だと思います。最近話題になった SNS による誹謗中傷が原因と思われる女子プロレスラーの自殺を始め、大人の世界でも耳をふさぎたくなるような事案は多々あります。表現の自由を逆手に取ったような匿名の誹謗中傷等が子どもの世界へと降りて行かないよう、大人も踏ん張る時だと感じています。

なお、保護者や地域の皆様向けのメッセージの第二には、「学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力」と記載されています。前例のない対応で難しいところばかりですが、文部科学省の資料などを参考に、本校の実態に応じた対応をしてみたいと思いますので、今後どうぞよろしくお願いいたします。

## 祇園歴史の旅（その70）「10周年の祇園小とその時代」

祇園小学校沿革史によると、平成23年に県学校保健推進努力校受賞、全国小・中学校書道コンクール優秀学校賞受賞とあります。健康教育に加え、書道でも優秀学校として表彰された年でした。

また、インターネット記事によると、当時の主な出来事は次のとおりです。平成23年4月1日小学5・6年生に外国語活動導入、7月18日サッカー女子ワールドカップで日本初優勝、7月24日テレビ地上デジタル放送に移行、8月26日菅首相退陣表明、9月2日野田内閣発足。

今回は、「11周年の祇園小とその時代」と題して、11周年の祇園小学校の出来事や平成24年4月～25年3月までの日本内外の主な出来事をご紹介します。